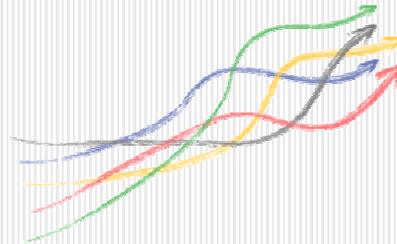


## 2008年9月期 中間決算説明会

2008年5月22日



本資料および本説明会の説明には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

## プレゼンテーション・アウトライン

: 2008年9月期 業績ハイライト

: さらなる経営強化とその方向

国際分野拡大

国内公共分野のさらなる強化

グループ経営による効果の発現

人材への投資

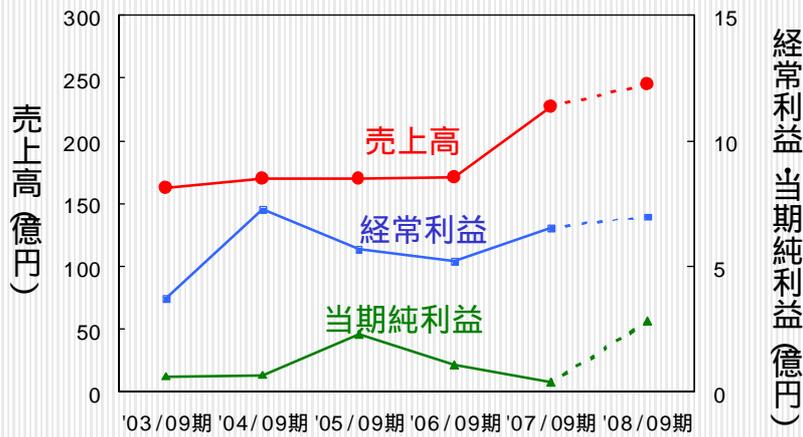
: 質疑応答

## 2008年9月期 業績ハイライト



## ACKG業績の推移

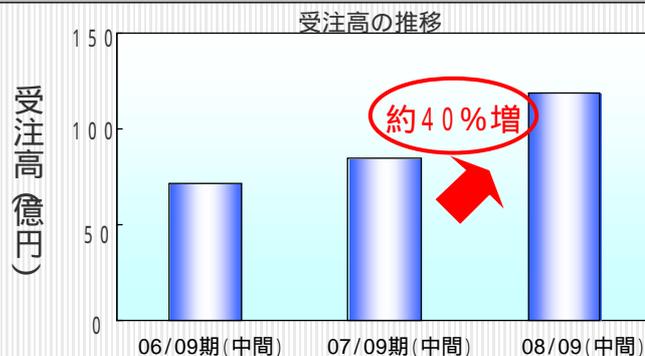
積極果敢な攻撃経営の成果が出始め、  
売上高・利益の好調な拡大ステージへ



注：05/09期以前はオリエンタルコンサルタンツ(連結)の実績

## 2008年9月期 業績ハイライト(中間)

期首には第一陣としての役者がそろい、  
期待通りの活躍  
前期比受注高約40%の大幅増  
主要子会社オリエンタルコンサルタンツの受注高  
は過去最高



## 2008年9月期 業績ハイライト(通期)

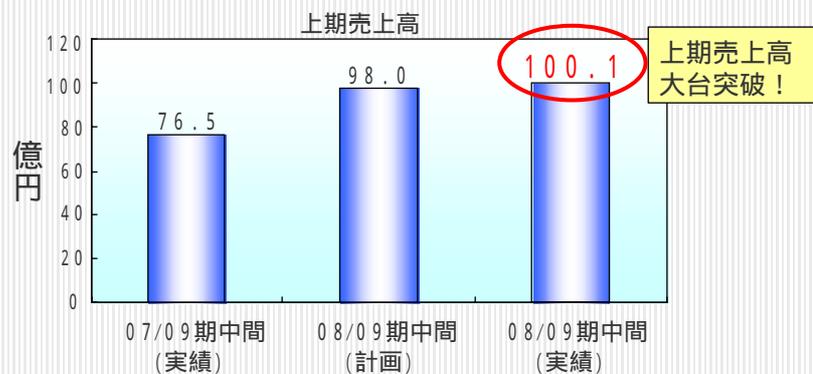
業績は、計画通り好調に拡大する見込み

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期 (07/09期)	22,763	586	653	36
当期(予想) (08/09期)	24,500	590	660	280
増減	1,736 (7.6%)	3 (0.5%)	6 (1.0%)	243 (674.5%)
当期(計画) (08/09期)	24,500	590	660	280

## 2008年9月期 業績ハイライト(中間)

上期売上高は前期比約30%増  
計画を上回るペースで堅調に拡大



## さらなる経営強化とその方向



## さらなる経営強化とその方向

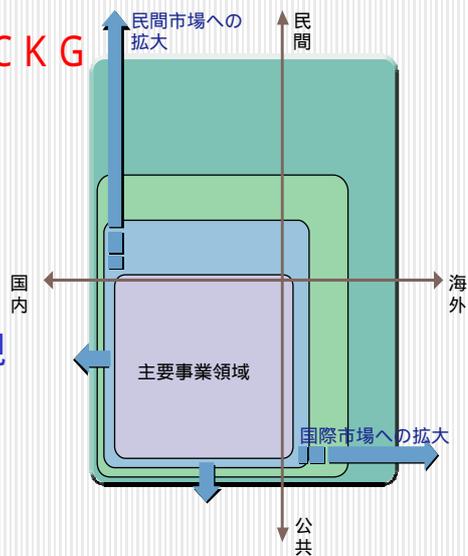
ワンストップサービスのACKG

国際分野拡大

国内公共分野拡大

グループ経営の効果の発現

人材への投資



## 国際分野拡大

世界が注目するビッグマーケットへの挑戦  
ドバイを皮切りに中東諸国へ進出  
ODA以外の国際分野へも進出  
グループ全体で国際分野の拡大へ

ACKG 12

### 世界が注目するビッグマーケットへの挑戦

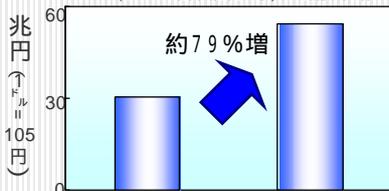
 株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ**

**建設ラッシュの続くドバイへ本格進出**  
(建設は高層ビルから、我々が得意とする道路、橋梁にシフト)

**オリエンタルコンサルタンツのドバイ事務所を開設**

**オリエンタルコンサルタンツはドバイの企業と共同企業体を組織、ドバイの大型建設プロジェクトの受注に向け活動中**  
(本邦のコンサルタントでは初の地元ライセンス取得へ向け活動中)

UAE (アラブ首長国連邦) の建設市場



年度	兆円 (↑ドル 105円)
2006年度	30
2007年度	約40.5

出典: MEED

ドバイの風景



## ドバイを皮切りに中東諸国へ進出

ACKグループ中東事務所をドバイに設立予定

既に子会社が中東諸国において受注、さらに多くの引合い

ドバイを皮切りに、建設市場規模130兆円超の中東地域から  
受注を狙う(出典:MEED、1ドル=105円で計算)

交通インフラ、環境分野などの分野へも進出



## ODA以外の国際分野へも進出

これまで国際分野の中心だったODA以外の事業へも進出

ODA: 政府開発援助(政府機関が発展途上国に対して行う援助や出資のこと)

最近のnon-ODA事業の一例

- 
**株式会社 オリエンタルコンサルタンツ** 釜山沈埋トンネル建設  
 韓国釜山とその西側に位置する巨済島(コジエド)を渡るルートの施工監理
- 
**株式会社 オリエスセンター** 新ドーハ国際空港橋梁  
 カタール新ドーハ国際空港ターミナルを結ぶ橋梁の設計
- 
**大成基礎設計株式会社** 
**株式会社 オリエスセンター**  
 韓国現代(ヒュンダイ)製鉄所の軟弱地盤検討  
 韓国における製鉄所建設予定地の軟弱地盤対策工法の選定など

## グループ全体で国際分野のさらなる拡大へ

オリエンタルコンサルタンツやオリエスセンターを皮切りに、グループ全体でさらなる国際市場進出を目指す

 **大成建設設計株式会社** : 地質に関する事業へ

 **株式会社アサノ建工** : さく井(井戸を掘ること)に関する事業へ

 **株式会社中央設計技術研究所** : 上下水道、下水汚泥に関する事業へ

 **株式会社総合環境テクノロジー** : 廃棄物処理に関する事業へ

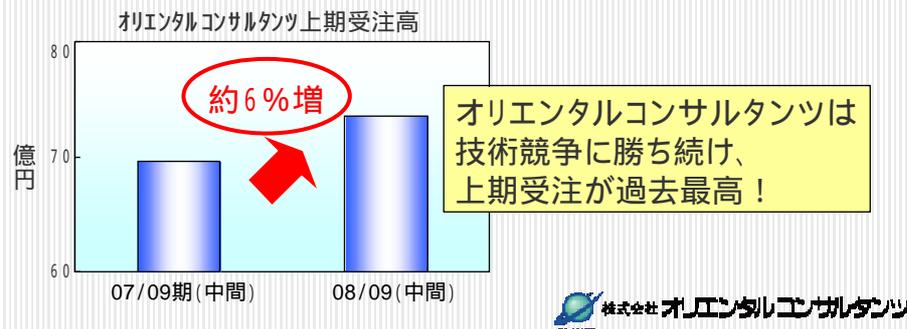


## 国内公共分野拡大

主要子会社オリエンタルコンサルタンツ上期受注高は過去最高  
国内公共分野のさらなる拡大へ

## 主要子会社オリエンタルコンサルタンツ受注高は過去最高

現在の主要事業領域である国内公共分野がさらに拡大  
 主要子会社のオリエンタルコンサルタンツの上期受注高は過去最高を記録



## 国内公共分野のさらなる拡大へ

建設コンサルタント市場規模:約6,400億円  
 (上位300社の2006年度売上高合計)

オリエンタルコンサルタンツのシェアは約2.4%にすぎず、まだまだシェア・アップできる！

・「公共工事の品質確保の促進に関する法律」により、本格的に「価格競争」から「技術競争」の時代へ

当グループは高い技術力を有しており、国内公共分野はさらに拡大し続ける！

## グループ経営の効果の発現

ACKGの役者たち  
営業チャンネルの相互活用  
各社の強みを活用した研究開発

### グループ経営の効果の発現 (ACKGの役者たち)

第一陣としての役者がそろい第3期がスタート  
・顧客層・販路の大幅拡大(相互の営業チャンネルの活用)  
・技術・商品の相互活用  
・人材の相互活用  
グループ経営によりACKGの役者たちがそれぞれの強みを最大限に活かす体制



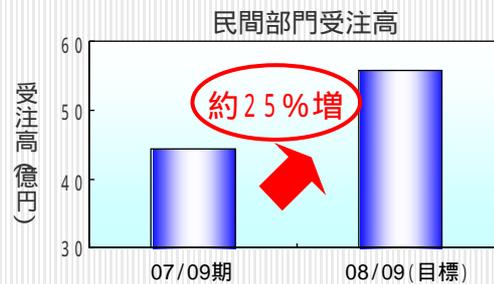
## 顧客層・販路の大幅拡大(営業チャンネルの相互活用)

### 各グループ会社の営業チャンネルを活用した受注増

- ・民間に強い大成基礎設計、アサノ建工の営業チャンネルを活用した民間受注の増加

これまで、国内公共が中心だったオリエンタルコンサルタンツやオリエスセンターなどの技術・商品が民間市場へと拡大

- ・既存商品・サービスの販売協力を全グループ会社で実施



## 各社の強みを活用した研究開発

### 技術・商品・人材などの相互活用によるハイレベルな研究開発

#### 最近の各社の強みを活用した研究開発の一例



- ・中央設計技術研究所の「上水道に関する技術」及び吉井システムリサーチの「システム開発力」を統合し、新システムを開発
- ・近日、「上水道設計・維持管理統合システム」を発売予定



- ・大成基礎設計の「センシング技術」、総合環境テクノロジーの「廃棄物に関する技術」及び吉井システムリサーチの「システム開発力」を統合
- ・近年問題になっている最終処分場の残余年数計測技術の開発に着手

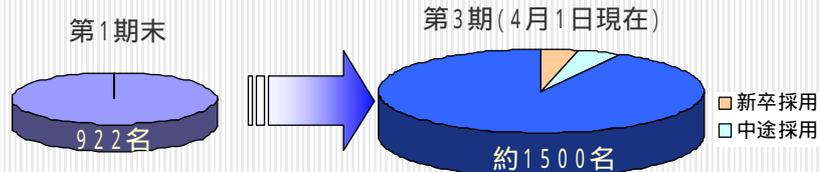
## 人材への投資

最大の経営資源である人材への投資  
積極的な中途採用、新卒採用  
従業員の自己研鑽を支援する制度

### 最大の経営資源である人材への投資

- 事業の急拡大により、最大の経営資源である人材を採用
- ・中途採用：即戦力を上期で56名採用
- ・新卒採用：将来の拡大発展への先行投資として47名採用  
(前期比約20%増員)
- ・合計103名と全従業員の約7%を新規に採用

#### 従業員数の推移



## 従業員の自己研鑽を支援する制度

### グループ内人事ローテーション制度

- ・他事業会社またはACKグループ本社へ出向
- ・幅広い視野を持った人材を育成

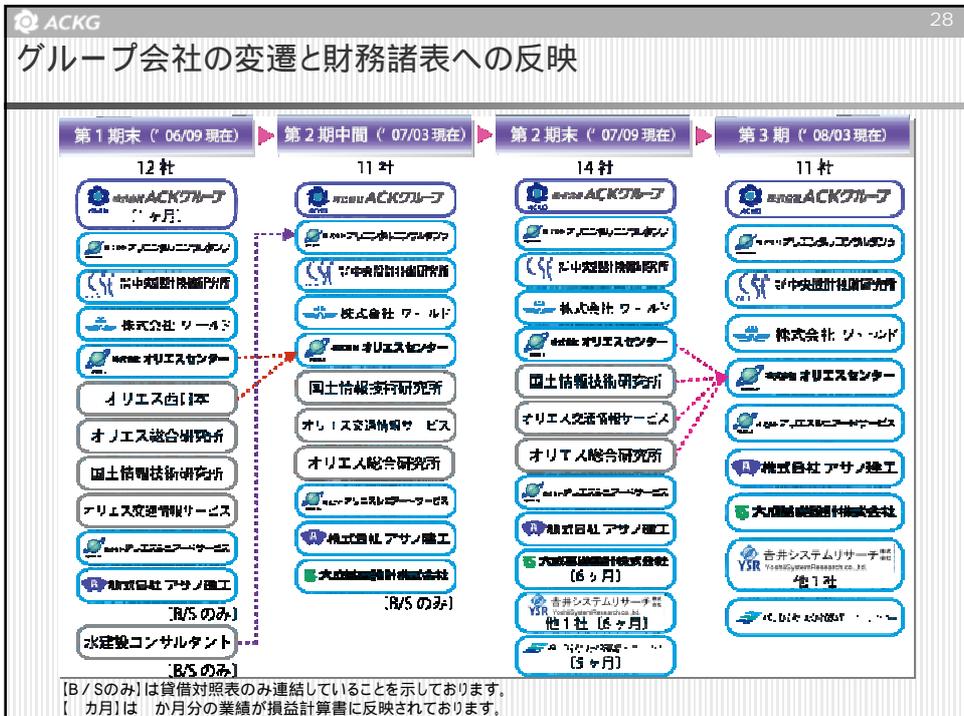
### グループ外派遣制度

- ・企業派遣制度:国内外の企業へ派遣
- ・留学制度:国内外の大学へ留学

## 質疑応答



# APPENDICES



## グループ会社の紹介

事業会社	業務内容
 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ	デザインソリューション、国土基盤、都市・地域、交通、環境、防災、国際協力など
 大成基礎設計株式会社	地質・土質調査、環境調査・浄化、構造物調査など
 株式会社 アサノ建工	さく井工事、地質・土質調査、解体工事、温泉工事など
 井中栄設計技術研究所	上下水道、廃棄物、環境、情報に関する調査・計画・設計・維持・運営など
 株式会社 ワールド	測量、写真測量、GIS、補償コンサルタントなど
 吉井システムリサーチ株式会社 Yoshi System Research Co., Ltd.	システム開発、パッケージソフトウェア販売、ITサービスなど
 株式会社 オリエスセンター	建設に関する調査・設計・監理、CM/PM、交通関連業務など
 株式会社 総合環境テクノロジー	循環型社会の形成に向けた廃棄物処理、リサイクル、エネルギーなどの環境ソリューションの提供など
 株式会社 オリエスシェアードサービス	間接部門業務支援、ITサポート、人材マネジメント、人材派遣など

## 大成基礎設計 土壌リスク講習会を主催

平成19年12月5～7日に  
土壌リスク講習会を主催  
土壌汚染対策の先進国  
である米国から講師を招  
へい  
地質調査会社、コンサル  
タント、ゼネコンなど約70  
名が参加  
石油元売業や不動産関  
連会社から引合いも

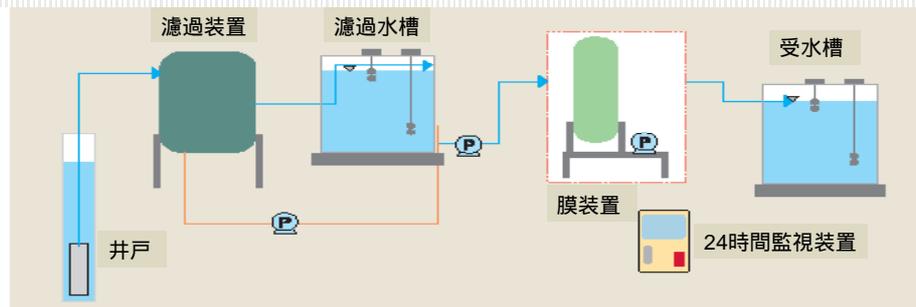
講習会の様子



## アサノ建工 新規事業水ESCO(エスコ)を展開

水ESCO(エスコ):水道代を大幅に削除し、その削減分を収益に還元するビジネス

水を多く使用するスポーツクラブや総合病院から既に受注達成  
今後、水の使用量の多い工場、商業施設などからも受注を狙う



HOT TOPICS

株式会社 アサノ建工

## オリエスセンター NETWORK OC-iの研究開発

ナンバープレート調査で高評価のOC-iシステムを高度化

低価格の提供が可能

-専用カメラを必要とせず市販のWebカメラの使用が可能

-既存OC-iシステムを用いることで初期投資を抑制

小売店などの来場者情報の収集によるマーケティングへの活用

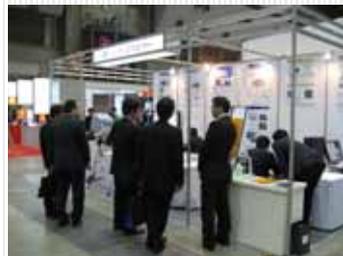
不正駐車車両の把握

2008年5月8日～9日にパーキング・ジャパンに出展



Webカメラ

▼パーキング・ジャパン2008出展の様子



詳しくは

HOT TOPICS



株式会社 オリエスセンター

## オリエンタルコンサルタンツ 河川の自然再生事業を展開

平成15年2月に「自然再生推進法」が施行  
失われた生態系を取り戻す自然再生事業が拡大  
魚類にとって、産卵や稚魚の成長の場となる重要な淀川のワンドの自然再生事業を実施  
今後、全国の河川事業への拡大を目指す



淀川のワンド

ワンド: 河川の側にあり、水位の変化で河川とつながったり離れたりする池状のもの

HOT TOPICS

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

## オリエスシェアードサービス「HRD JAPAN2008」に出展

アジア最大の人事・組織・人材開発に関する大会である「HRD JAPAN2008」に出展  
新規顧客の開拓が目的  
人材評価ツール  
「Harrison Assessments (HA: インナビュー)」を用いた社員の「見える化」による人事コンサルティングメニューを展示

出展の状況



HAについては

HOT TOPICS

株式会社 オリエスシェアードサービス

## 大成基礎設計 インドネシアへの社会貢献活動

2004年スマトラ沖地震以降毎年実施  
今回で4回目  
地盤調査方法などの実施指導



▲支援活動の様子

◀現地の方との集合写真

HOT TOPICS

 大成基礎設計株式会社

## ACKグループ ホームページをリニューアル

株主・投資家の皆様にとって「事業概要」をよりわかりやすいものとするためにホームページをリニューアル  
アドレスは今までどおり <http://www.ackg.jp>  
一度、アクセスしてください。

詳しくは



HOT TOPICS

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前期中間 (07/09期)	当期中間 (08/09期)	増減額	
売上高	7,656 (100.0%)	10,011 (100.0%)	2,354	民間部門拡大、国内公共部門拡大、営業チャンネルの相互活用により堅調に拡大
売上原価	5,626 (73.5%)	7,454 (74.5%)	1,828	
販売費・一般管理費	2,467 (32.2%)	3,232 (32.3%)	765	
営業利益	436 (5.7%)	676 (6.8%)	239	下半期に完成する業務が多く季節的変動がある。同様の特性を有する大成基礎設計の参画により、その変動幅が拡大
経常利益	421 (5.5%)	632 (6.3%)	210	
中間純利益	313 (4.1%)	446 (4.5%)	133	
受注高	8,437 -----	11,850 -----	3,412	オリエンタルコンサルタツの受注が過去最高。

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期中間 (07/09期)	当期中間 (08/09期)	増減額	
流動資産	14,228	14,259	31	子会社株式売却益に係る繰延税金資産の減少や手許現預金を減少させたため、減少
固定資産	4,802	4,494	308	
資産合計	19,030	18,754	276	
流動負債	11,759	11,854	94	受注高拡大に伴う運転資金増加により短期借入金は増加したが、負ののれん償却、未払金・未払法人税などの減少などによりほぼ横ばい
固定負債	1,349	1,199	150	
負債合計	13,109	13,053	55	
資本金	502	503	0	中間純損失の計上、自己株式の取得などによる減少
資本剰余金	780	748	32	
利益剰余金・自己株式	4,342	4,154	187	
評価差額・少数株主持分	294	293	1	
純資産合計	5,921	5,700	220	
負債・純資産合計	19,030	18,754	276	

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期中間 (07/09期)	当期中間 (08/09期)	増減額	
営業活動による キャッシュフロー	3,656	4,628	971	4～6月の売上代金回収が増加するため回復する見込み
投資活動による キャッシュフロー	162	151	10	
財務活動による キャッシュフロー	4,015	4,860	845	営業費用の前払額を賄うため、短期借入金が増加。この短期借入金は4月30日に全額返済
現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高	2,632	2,211	421	



顧客価値の追求を通じ  
『世界の人々の豊かな  
暮らしと夢の創造』を目指し、  
今の業容にとらわれず  
サービス領域無限大へ  
チャレンジします！

## お問い合わせ先



**JASDAQ**  
銘柄略称: ACKG  
証券コード: 2498

〒150-0036

東京都渋谷区南平台町16-28 グラスシティ渋谷

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ackg.jp>

(銘柄略称: ACKG / 証券コード: 2498)

問合せ 経営企画本部 千葉 俊彦

e-mail: [ir-ackg@ackg.jp](mailto:ir-ackg@ackg.jp)

**本日は弊社中間決算説明会に  
ご参加いただきましてありがとうございました**